

地理歴史・公民科（歴史総合）学 習 指 導 案

指導者 小嶋 孝弘

- 1 日時及び場所 令和4年1月24日(火曜日) 第6限 1年5組教室
- 2 学級 1年5組 36名(男子22名 女子14名)
- 3 学級観 活発であり、積極的に授業に参加する生徒が多い。
- 4 使用教材 教科書 歴史総合(第一学習社) 副教材 ダイアログ(第一学習社)
- 5 単元 第3章 グローバル化と私たち 現代的な諸課題の形成と展望

6 単元目標

- (1) 持続可能な社会の実現を視野に入れ、自ら主題を設定し、歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題を理解する。
- (2) 事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたり、現代的な諸課題を展望したりするなどして、主題について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。
- (3) 自ら設定した問いに対し、諸資料を活用し、主体的に課題を追究したり解決したりする態度を養う。

7 単元計画

- ・「探究」活動に取り組んでみよう(準備) 1時間(本時)
- ・「探究」活動に取り組んでみよう(実践) 2時間

8 本時の目標

- ・ 地理総合で学んだことも生かしながら、仮説をたて、その根拠となる資料等をみつけ、しめす。そのために課題を追及したり解決しようとしている。(主体的な学習に取り組む態度)

9 本時の展開

	学習内容	学習活動	指導上の留意点・評価
導入 8分	前回の復習 本時の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回学習した範囲の一問一答をペアで取り組む。 ・ 探究活動についてと本日の学習内容及び本時の問い『なぜ日本は植民地にならなかったのか』を確認する。 ・ プリントの年表を確認し、幕末から明治政府誕生までを復習する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 速やかにタブレットとスマートフォンの準備とグループを作るよう指示する。 ・ 問いに対して、生徒が疑問を抱けるように問いかける。
展開 32分	仮説をたてる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地理的観点から仮説を2つたて、プリントに記入し、ロイロノートに投稿する。また、他者の意見にもふれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の地理的特徴と植民地についてふれ、生徒にイメージをもたせる。 ・ 仮説をロイロノートに投稿する前に、グループのメンバーと仮説を共有するよう促す。
	根拠を見いだす	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仮説を1つ選択し、その根拠をスマートフォン等で見いだす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 四国艦隊下関砲撃事件について触れ、根拠の示し方の一例をあげる。 ・ グループの中で、全員が同じ仮説にならないよう促す。
	共有する	<ul style="list-style-type: none"> ・ ロイロノートに投稿し、他者の意見にもふれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回は根拠を示すまでであったが、次回は考察や構想もしていくことを伝える。

ま と め 10 分	ふりかえり	・プリントの自己評価・他己評価・ふりかえりに取り組む。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 【主体的に学習に取り組む態度】… </div> 評価規準 課題を追及したり解決しようとしているか。
------------------------	-------	-----------------------------	--

10 御高評